

平成 26 年 12 月 16 日

○昭和 44 年の建物 ○面積 9,600 m² ○IS 値 0.26

○平成 19 年度 新築・免震・耐震の経費を比較するために積算。

| 工 法 | 積算経費 | 内 容 等 |
|-------|--------------|--|
| 耐震補強 | 約 33 億 3 千万円 | 現在の庁舎の外側や内側に鉄骨ブレース（すじかい）を設置するもので、工事期間中は業務ができないことを想定して、別場所に仮事務所（2000 m ² 程度）を建て事務機能を移転する費用含めた積算。 |
| 免震工法 | 約 37 億 5 千万円 | 現在の建物の下に地震の揺れを吸収する免震装置を設置し、振動を少なくする工法を積算 |
| 新庁舎建設 | 約 54 億 3 千万円 | 別の場所に新庁舎を建設した場合の費用を積算。 |

○平成 22 年度 庁舎本館耐震改修事業（プロポーザル応募要領から抜粋）

| 区 分 | 内 容 |
|-------|---|
| 件 名 | 〇〇市庁舎本館耐震改修事業 |
| 契約限度額 | 7 億 7 3 7 9 万円 |
| 概 要 | ・本館耐震改修工事にかかる耐震改修工事（ブレースを XY 方向に配置） ・目標 IS 値は 0.75 に設定 |
| 結 果 | 4 社から応募があり。 4 億 1 千万円を提示した業者の企画提案を採用したものの。 |

〇〇市においては、平成に入ってから約 20 億円をかけて、エレベーター改修、電気設備のキュービクル方式への変更及びタイルの張りかえなどの施設改修を行っているため、今回の工事は外側ブレース（XY 方向に設置）が主な工事となっています。従って、33 億 3 千万円の事業内容が 4 億 1 千万円となったものではありません。

白井市と〇〇市における外側ブレース概算積算経費の比較

| 区 分 | 積算年度 | 延床面積 | 耐震対象面積 (地階を除く) | 概 算 経 費 (契 約 結 果) | 単 価 |
|-----|------|----------------------|----------------------|---------------------------------|---|
| | | | A | B | A/B |
| 白井市 | H21 | 8,997 m ² | 7,840 m ² | 4 億 2 2 4 5 万円 (——) | 53,884 円/m ² (——) |
| 〇〇市 | H22 | 9,618 m ² | 8,167 m ² | 7 億 7 3 7 9 万円 (4 億 1000 万円) | 94,746 円/m ² (50,202 円/m ²) |

- ・白井市では平成 23 年度（庁舎整備検討委員会）に耐震性を確保する工法のひとつとして外付けブレース案の比較検討をしています。